

CleanManager

写真撮影機能 と 報告書撮影機能 の操作手順とポイント

2024年6月19日版
CleanManager

目次

1. 写真撮影機能の基本的な使い方
縦横比が 3 : 4 の場合とフリーサイズでの使い方

2. 報告書撮影機能 <デジタルー直線>
 - ① 台形補正機能の使い方

 - ② A4横向き報告書の撮影手順と出力フロー

1. 写真撮影機能の基本的な使い方

写真撮影機能の基本的な使い方

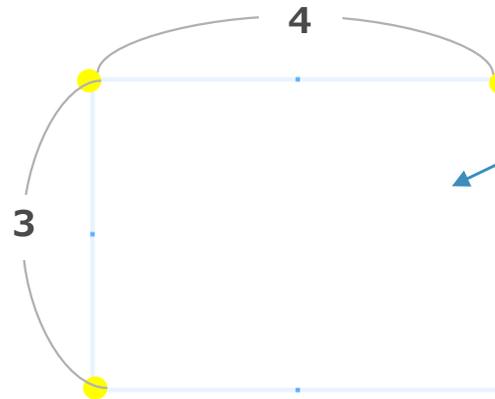
写真アイコンを押し、写真を撮影またはアップロードします



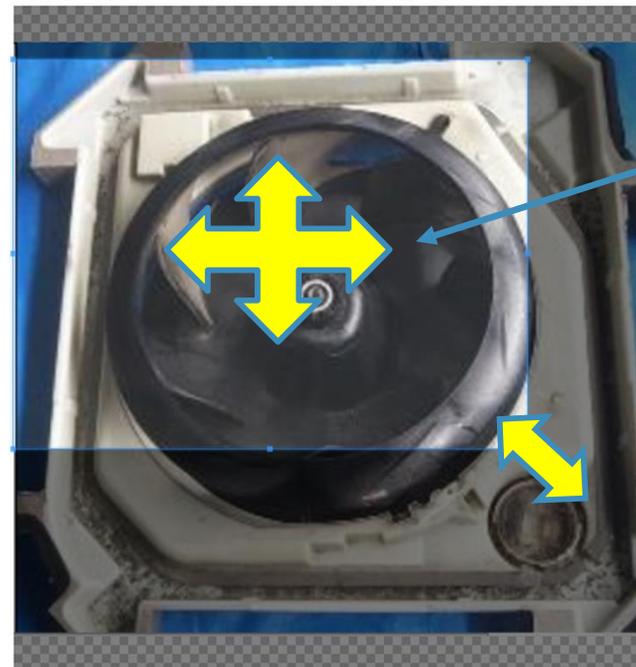
		作業前	作業後
TESTNo1	室内機01 (中3/中4/後)	○	
	室内機02 (前/中1/中2)		
	室内機03 (前/中1/中2)		
	室内機04 (前/中1/中2)		
	室内機05 (前/中1/中2)		
	室内機06 (前/中1/中2)		
	室内機07 (前/中1/中2)		
	室内機08 (前/中1/中2)		
	室内機09 (前/中1/中2)		
	室内機10 (前/中1/中2)		
	室内機11 (前/中1/中2)		
	室内機12 (前/中1/中2)		
	室内機13 (前/中1/中2)		
	室内機14 (前/中1/中2)		
	室内機02 (中3/中4/後)		
	室内機03 (中3/中4/後)		

写真アップロード時の縦横比について

撮影またはアップロードされた写真には、
縦横比が3対4の切り取りガイドが表示されます



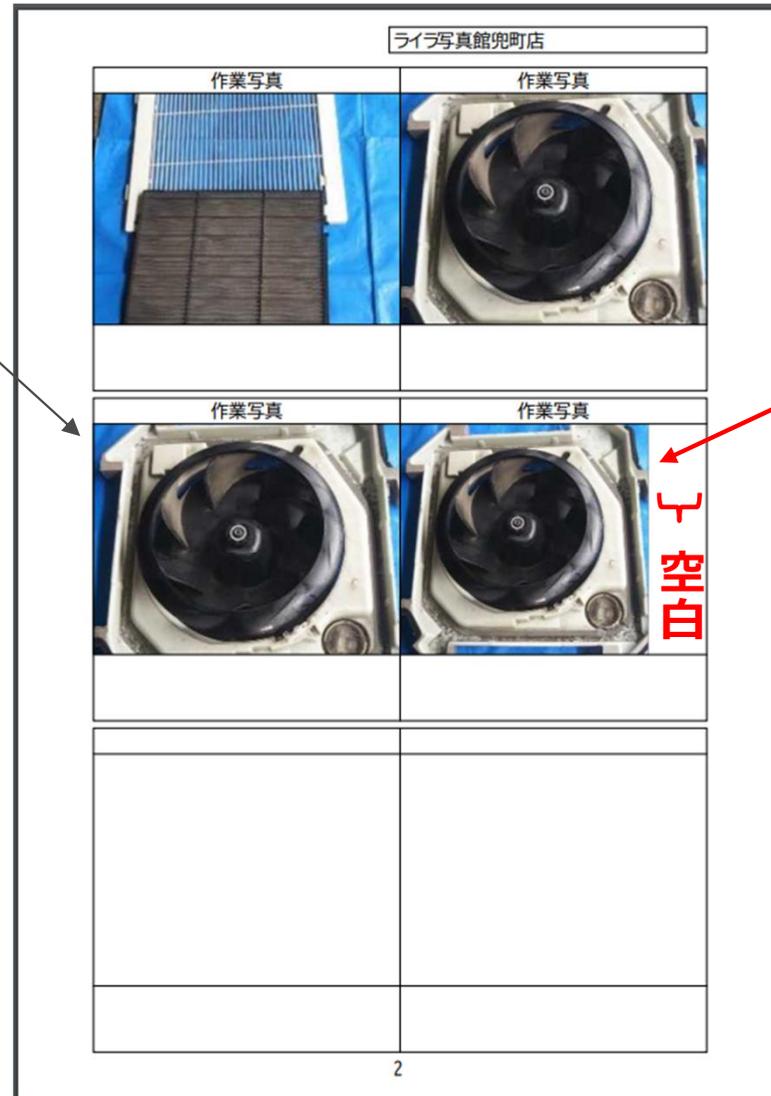
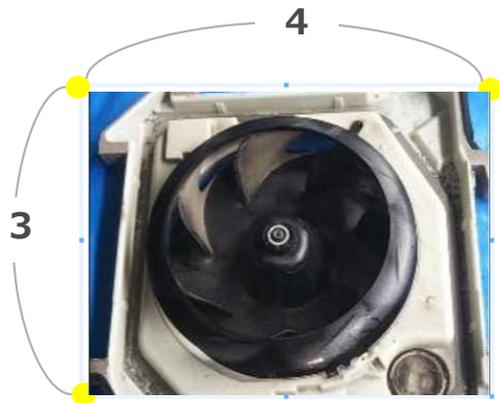
この枠（縦3：横4）範囲内が、
アップロードされる画像となり
ます。



枠は、位置の移動やサイズの
変更ができます。
（縦横比は3：4に固定です）

写真報告書の画像枠

縦横比が3対4でアップロードされた写真は、写真報告書の枠に沿って出力されます。

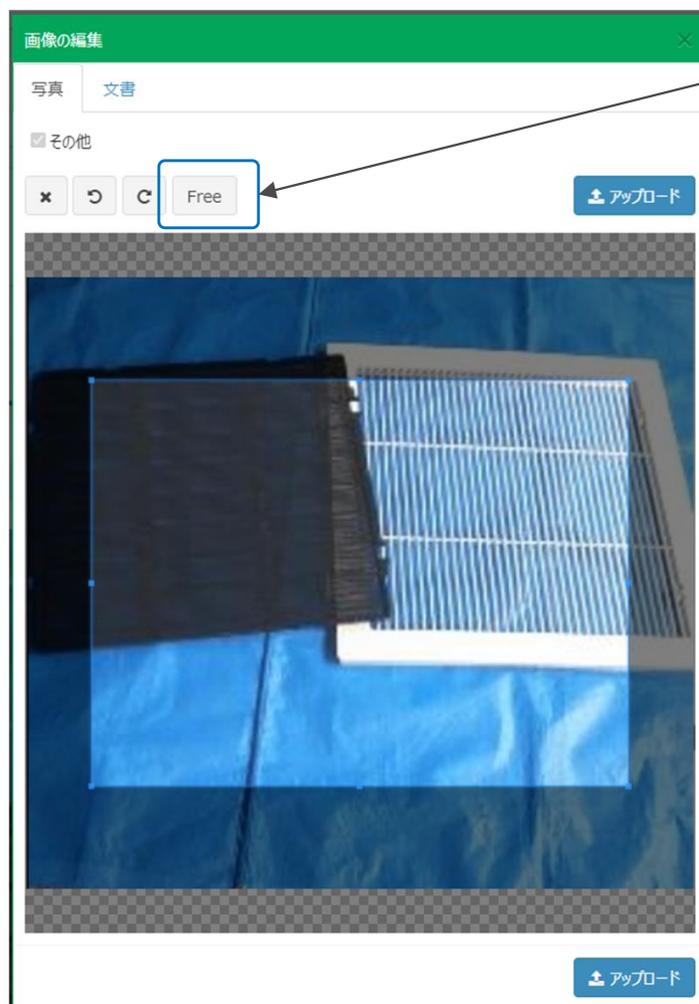


3対4ではない写真は、枠内で**左寄せ**で出力されます。(次頁参照)

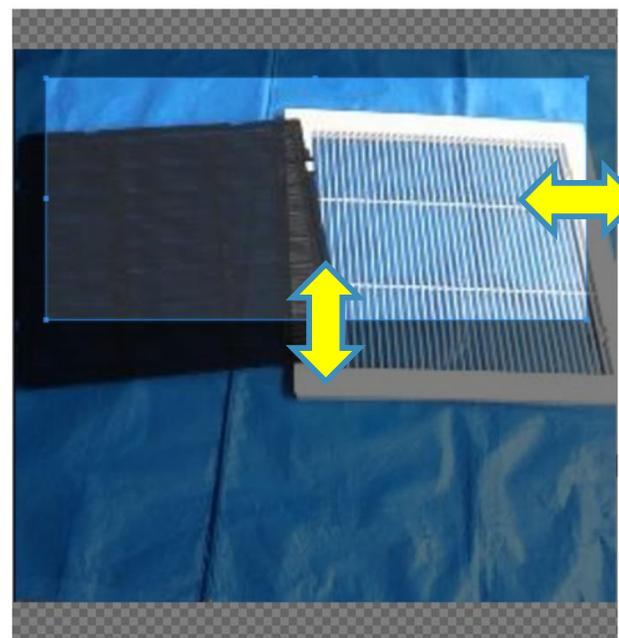
縦横比の変更

縦長の写真など、3対4以外の比率でのアップロードも可能です。

※ その場合は、報告書に出力した時に枠内左寄せになります。 **(前頁参照)**



Free ボタンをタップ (クリック) すると、画像内の枠が縦横自由に動かせるようになります。



2. 報告書撮影機能 <デジタルー直線>

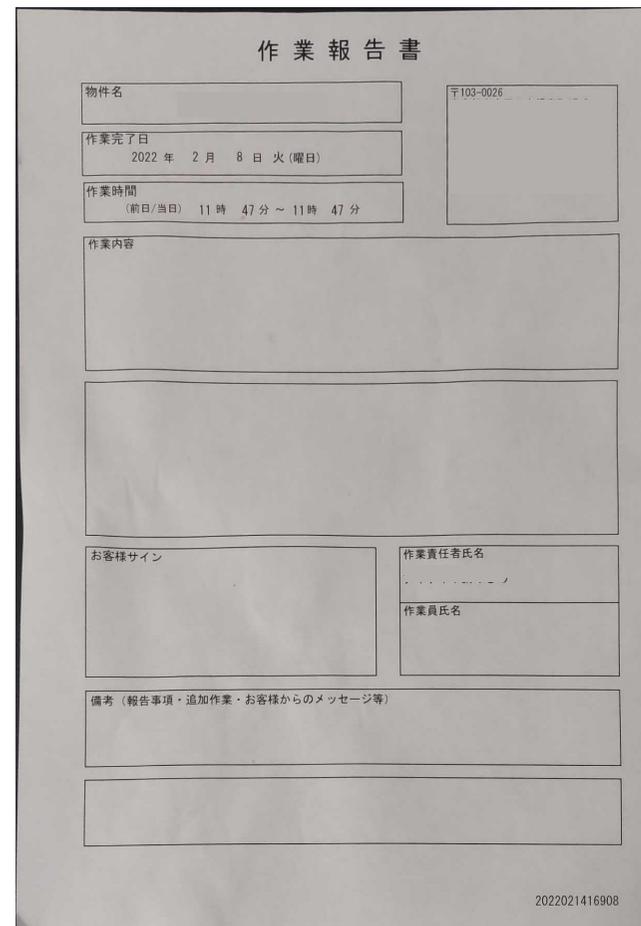
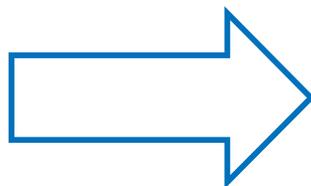
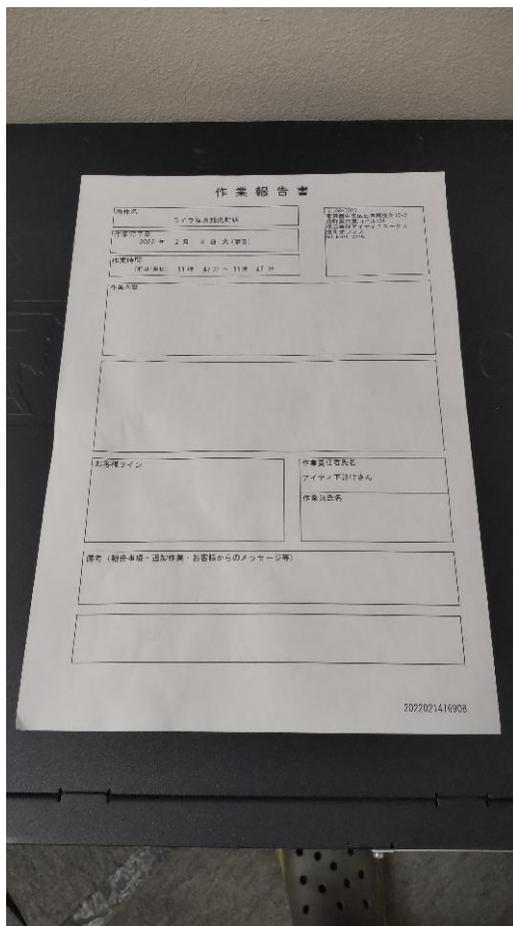
紙の報告書を撮影してデジタル化する機能

台形に撮影された画像を

A4サイズにきれいに補正し登録する手順

報告書撮影機能のポイント

スマートフォンで報告書を撮影すると、斜めに写し撮られ台形になってしまいます。この現象を補正してから登録（アップロード）することができます。

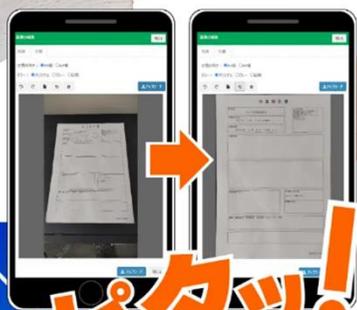


※ 本機能の意義については次頁をご覧ください。

デジタルー直線の紹介資料

今お使いの **報告書** を
現場 で
そのまま **デジタル化**

デジタルー直線!



デジタルー直線は
台形になってしまう報告書の写真を補正(台形補正
=キーストン補正)する機能です

この機能により
紙の報告書での運用を、大きく変えることなく、
デジタル化に移行することができます

このデジタル化の効果は
自社は勿論のこと、得意先や委託先とも共有でき
ます

※デジタルー直線は、**CleanManager**
に標準機能として搭載されています

商品サイト：<https://cleanmanager.jp>

未来に笑顔を創る企業
アイデン株式会社



162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町549番5

<https://iden.jp>

デジタルー直線! のメリット

1. 紙文書(報告書)を現場でデジタル化(PDF)できる!
2. 報告書にタイムスタンプと位置情報も附され証拠性がUP!
3. デジタル化された報告書は共有も保管も検索も便利に!

デジタル化への課題を一挙に解決

報告書のデジタル化が進まない理由

- 報告書フォームをデジタル化するための費用が(別途)発生する
- 報告書フォームの変更に手間や費用が大きく発生する
- 受託している作業(案件)毎に報告書のフォームが異なり、複数フォームに対応するための手間と費用が発生、得意先からの理解を得るのも難しい

クリーンマネージャー利用者のメリット

選べる報告書の提出(送信)と出力パターン

最速! 報告書を作業完了時に現場から直接送信できます
※報告書がメール添付で送信されます

承認後送信! 現場からの報告を社内を確認してから 1Click で送信できます
※承認機能を使い、社内承認と同時にメール添付で送信されます
※社内での二重チェック後に送信することも可能です

まとめて出力! 月次報告など複数の報告書の一つのファイルにまとめることができます
※取引先毎、案件毎などの条件で報告書をまとめ(zip圧縮で)ダウンロードできます

撮影忘れ防止機能を搭載! ※近日搭載予定

報告書の写真を撮影しないで完了を押した場合アラートが発生します
※報告書の写真を撮らなくても完了操作は可能です

オプションの位置情報取得管理機能の利用で

予め設定した範囲以外からの撮影登録にはアラートを発生することができます
※近日搭載予定

報告書のファイル名は、タイムスタンプ+物件番号(任意)+物件名(任意)
が附され、ファイル名検索に対応しています
上位の商流(得意先や元請け)からクリーンマネージャーを介して仕事
を受託している場合(オプション機能の「社外元請けユーザー」での利
用を含む)は、メール通知ではなく、クリーンマネージャーの画面を通
じて台形補正後の報告書が共有されます

CleanManager



<https://cleanmanager.jp>

画像補正の手順（1）

スマートフォンで「報告書を撮る」ボタンを押した場合の手順で説明します。

作業責任者名
(未設定)
※未設定の場合、作業を完了できず

「報告書写真を撮る」ボタンをタップ

作業完了

📷 報告書写真を撮る

ファイルが登録されていません

↓

ペーパーの報告書をスマホで撮影

↑

画像の編集 閉じる

写真 文書

文書の向き: A4縦 A4横

カラー: オリジナル グレー 白黒

🔄 📷 📏 📐 🗑️

📤 アップロード

編集画面に撮影した画像が表示されます。

↑

画像の編集 閉じる

写真 文書

文書の向き: A4縦 A4横

カラー: オリジナル グレー 白黒

🔄 📷 📏 📐 🗑️

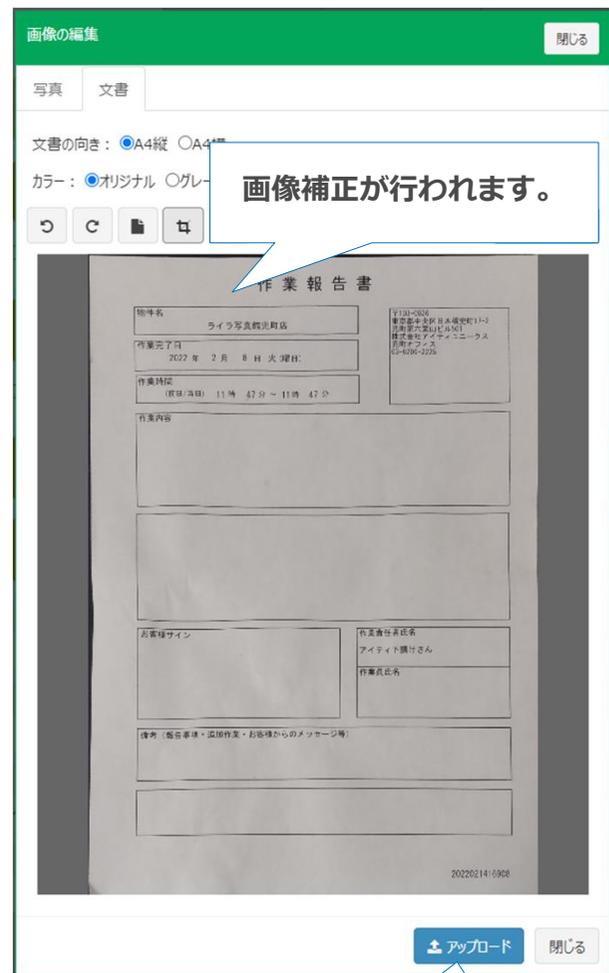
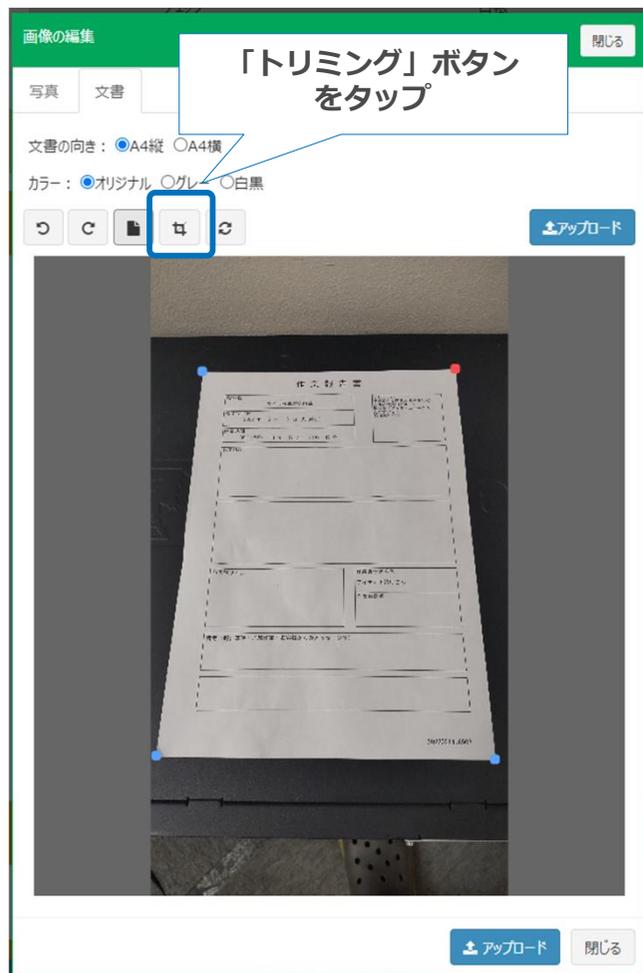
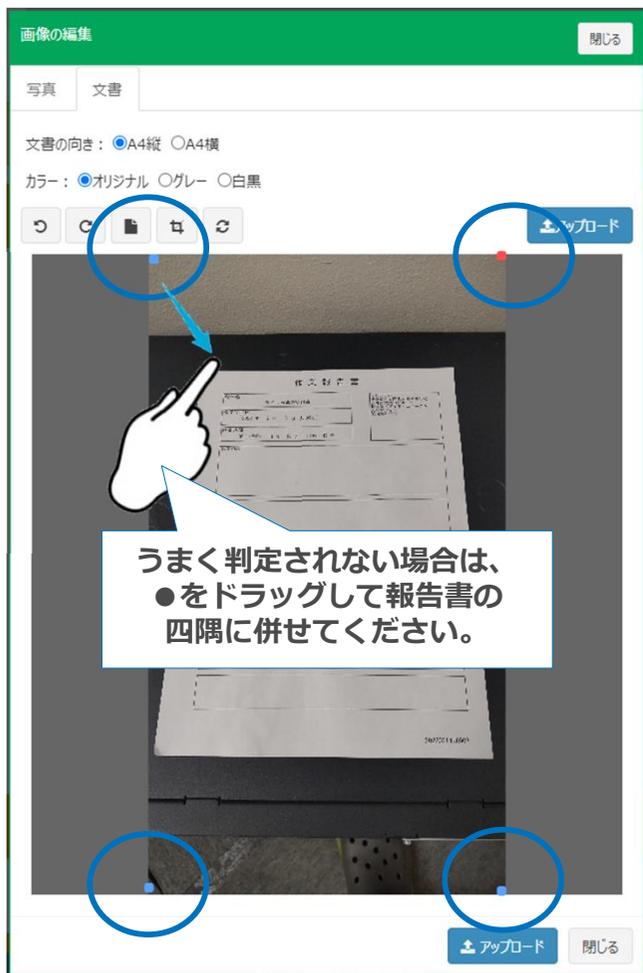
📤 アップロード

「認識」ボタンをタップ

紙の部分が自動的に認識されます。

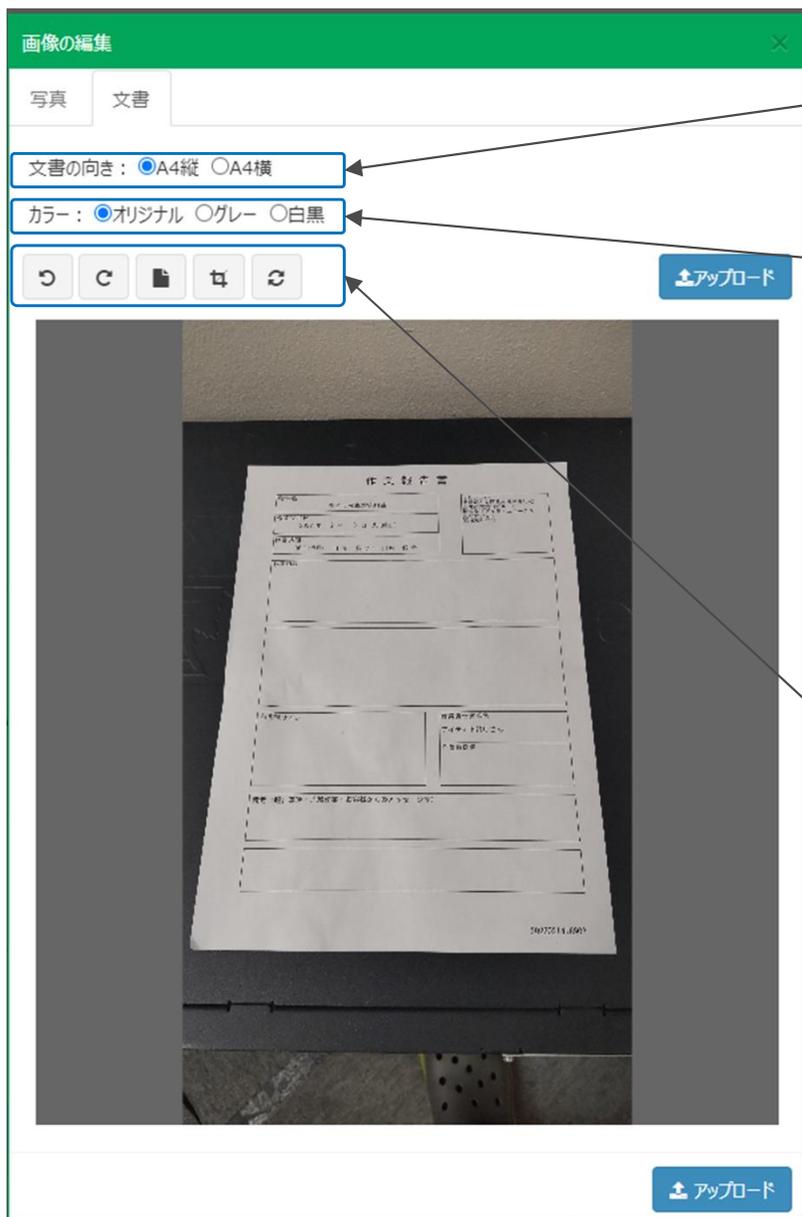
📤 アップロード 閉じる

画像補正の手順（2）



報告書撮影編集画面の説明

撮影した後に表示される編集画面で実行できる機能は以下の通りです。



画像の中で、報告書が「縦」「横」どちらで写っているかを指定します。
この選択は、画像補正実行時の縦横判定に使用されます。
※通常はA4縦として判定されます。
※報告書を横向きに撮影した場合は「A4横」を選択してください。

画像の色補正処理を行います。
※通常は既定の「オリジナル」を選択してください。

画像の操作を行うボタンです。各ボタンの説明は以下の通りです。



画像を反時計回りに回転します。



画像を時計回りに回転します。



画像内で報告書部分の四隅を認識します。

タップするとポインター（● ●）が表示されます。
ポインターの位置が、画像内で報告書の四隅にあっていないかを確認してください。（● は、右上を表します。）



現在認識されている四隅を利用して、台形補正を行います。



補正や回転結果をリセットし、初期状態に戻します。

3. A4横向き用紙の撮影手順と出力フロー

※ A4横の報告書がPDF出力時にA4縦で出力されてしまう
ことを回避する手順

報告書写真A4横向き登録 推奨フロー

報告書写真A4横向き登録 推奨フロー

報告書写真を撮影する。

画像の編集画面で以下を選択する。

- ・文書の向き：A4横
- ・カラー：任意の項目

プレビューに表示されている画像が横向きである。

横向きの場合

輪郭検出ボタンを押す。
輪郭を調整する。

切抜き&補正ボタンを押す。
補正された画像を確認。

アップロードボタンを押す。

縦向きの場合

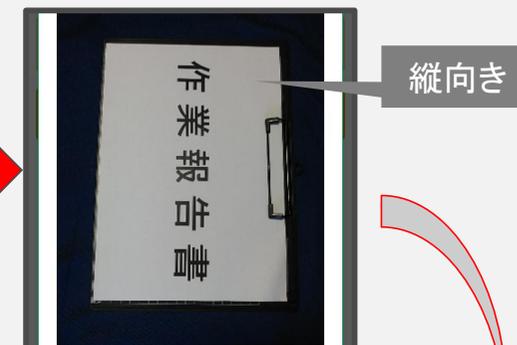
回転ボタンを押して
画像を本来登録したい横向きにする。

注意

注意

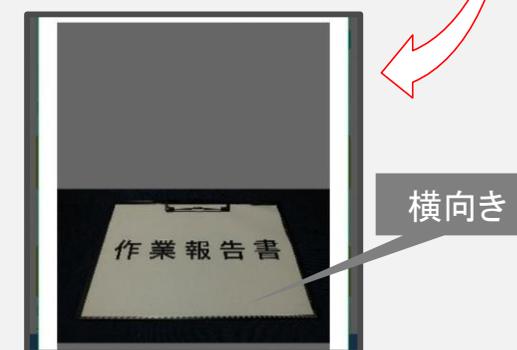
※縦向き/横向きは以下を意味します。

縦向き
プレビューに表示された
報告書の向きが縦向き



横向きにしてから
操作して下さい

横向き
プレビューに表示された
報告書の向きが横向き



なお、以下の向きは関係ありません。
・写真撮影時の報告書(実物)の向き
・写真撮影時のスマートフォンの向き

報告書写真A4横向き登録-横向きで表示された場合

報告書写真を撮影し、プレビューに横向きで表示された場合の手順は以下になります。

①

画像の編集画面で以下の値を選択します。

- ・文書の向き：A4横
- ・カラー：任意の項目



②

プレビューにて画像が横向きの場合、輪郭検出ボタンを押します。



③

必要な場合は輪郭を調整します。切抜き&補正ボタンを押します。



④

画像が補正されます。アップロードボタンを押します。



報告書写真A4横向き登録-縦向きで表示された場合

報告書写真を撮影し、プレビューに縦向きで表示された場合の手順は以下になります。

①

画像の編集画面で以下の値を選択します。

- ・文書の向き：A4横
- ・カラー：任意の項目



②

プレビューにて画像が縦向きの場合、回転ボタンを押して画像を横向きにします。



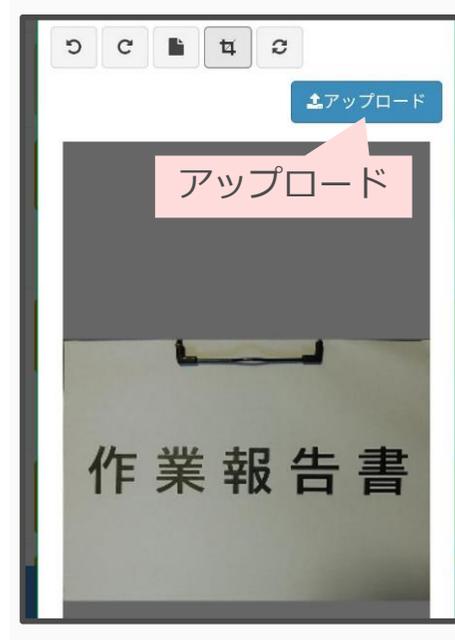
③

輪郭検出ボタンを押します。切抜き&補正ボタンを押します。



④

画像が補正されます。アップロードボタンを押します。



報告書写真A4横向き補正-失敗例

報告書写真をA4横向きで補正したい場合、必ず「文書の向き：A4横」を設定してください。

A4縦で補正した場合、意図しない補正となります。

A4縦を指定

文書の向き：A4縦 A4横
カラー：オリジナル グレー 白黒

A4縦

アップロード

失敗

アップロード

作業報告書

横向き用に補正したい報告書が
A4縦出力用に補正されてしまいます

正しい時の例

アップロード

作業報告書

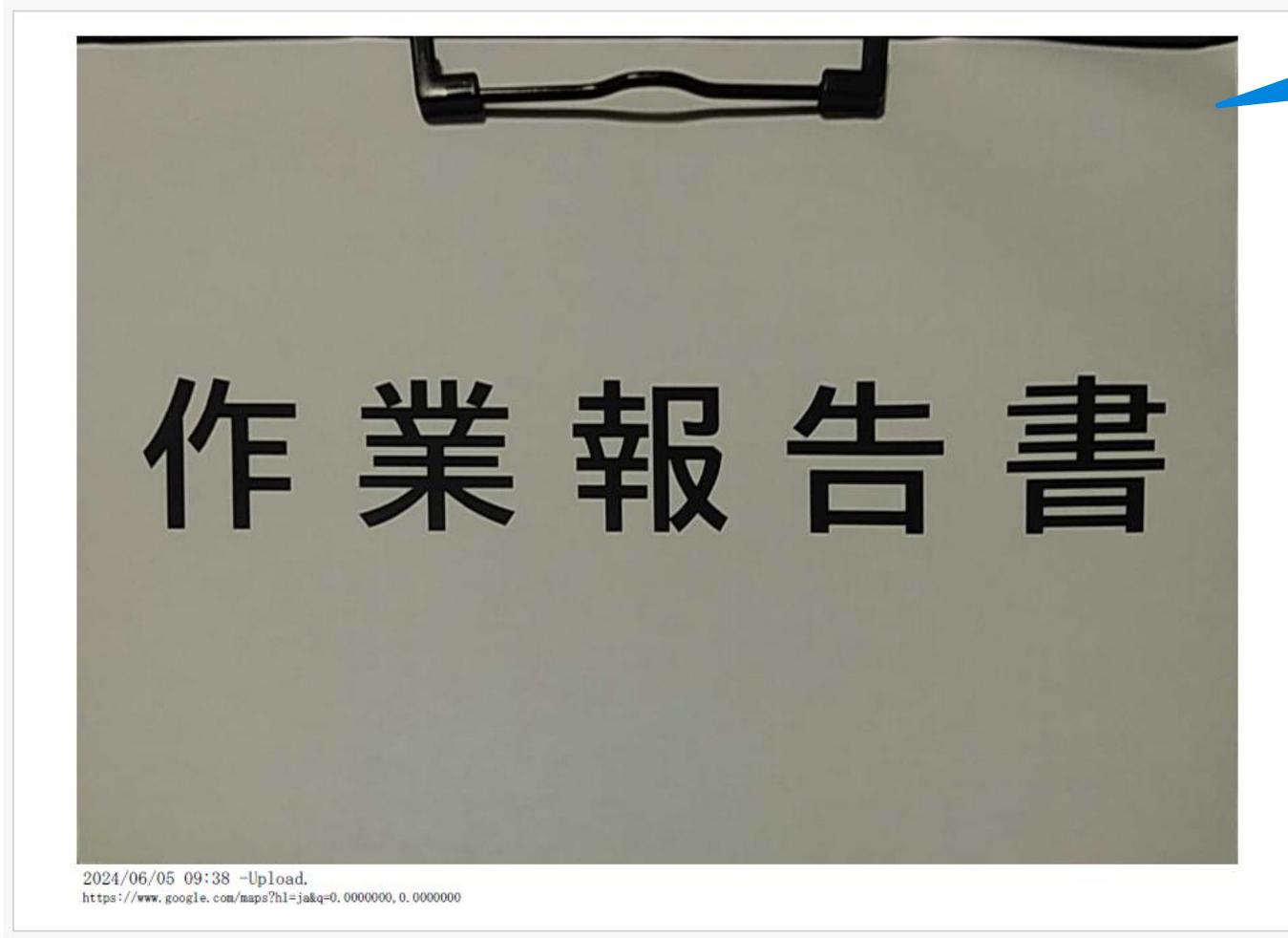
A4横を選択すると
A4横出力用に補正されます

「A4横」 報告書写真の出力

A4横の画像として登録された報告書写真は以下のようにPDF出力されます。

- A4横で出力されます。
- 画像に関する情報はA4横用紙下部に出力されます。

※ 報告書写真のPDF出力は、画像の縦横比によって、縦向き出力・横向き出力が決まります。
登録されている画像が縦に長い場合、縦向きに出力されます。横に長い場合は、横向きに出力されます。



A4横の画像のため
横向きにPDF出力されます